

3月25日(金)～

問合せ 区総務・防災担当 (☎592-3066)

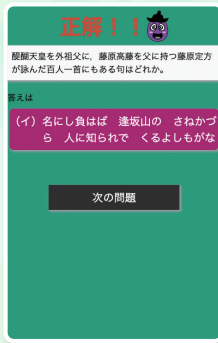
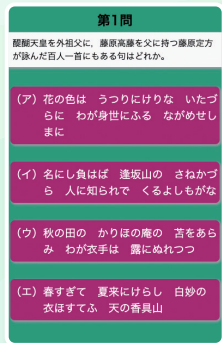
山科区公式アプリ「やましなプラス+」に新機能追加!

「山科検定過去問チャレンジ」に挑戦してください!

「やましなプラス+」で、山科の歴史・文化・産業等の問題を出題する「山科検定」の過去問(過去4回分計200問)をゲーム感覚でお楽しみいただけます。

10問中何問正解できるか、山科検定1級合格を目指してチャレンジしてみてください。

10問正解すると、画面にレアもてなすくんも出現します!



## 令和4年 春の全国交通安全運動

運動期間 4月6日(水)～4月15日(金)

スローガン 「あげた手に 笑顔で止まる 京の春」

- 運動の重点
- 子供を始めとする歩行者の安全確保
  - 歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上
  - 自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保

<子どもを交通事故から守りましょう>

- ドライバーは、住宅街や小学校、公園の近くでは特にスピードを控え、飛び出し等に備えましょう。
  - 保護者は、子どもと道路を歩く機会を作り、安全な行動が身につくよう、繰り返し教えましょう。
  - 子どもは大人のまねをします。周りの大人が正しい手本を示しましょう。
- <横断歩道での歩行者優先はドライバーの義務です>
- 横断歩道付近では、スピードを落として安全確認をしましょう。追い越し、追い抜きはやめましょう。
  - 歩行者が横断歩道を横断しようとしているときは、必ず一時停止をしましょう。

問合せ 山科警察署 (☎575-0110)

山科の魅力を区ホームページに掲載しました  
～たくさんのご応募ありがとうございました～

山科区役所では令和2年度から、山科への移住促進を図るため「京都山科ブランディング事業」に取り組んでいます。10月から11月にかけて、区民の皆さんからご応募いただきました山科の魅力を基に作成した特集ページを、区ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。これからも山科の魅力発信に取り組んでまいります。



住宅情報誌  
『SUUMO新築マンション関西版』、  
住宅情報WEBサイト  
『SUUMO』に掲載しました!



問合せ 区総務・防災担当  
(☎592-3066)

区ホームページはこちらから▶

## 住宅火災を防止しよう

問合せ 山科消防署 (☎592-9755)

空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期です。山科区の令和3年中の火災18件のうち、3月～4月に発生した火災は5件です。特に多い住宅火災を防ぐため、次の取組を実践しましょう!

### ●たばこ火災に注意!

- ・吸い殻は確実に消火
- ・灰皿に吸い殻をためない
- ・就寝前や外出前に喫煙場所を確認

### ●こんろ火災に注意!

- ・火をつけたまま離れない
- ・衣服への着火に注意

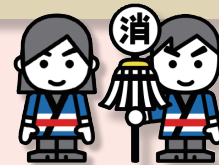
### ●住宅用火災警報器を設置!

- ・異常がある場合や設置から10年が経過した場合は交換

### ●放火火災に注意!

- ・建物の周りに燃えやすい物を置かない
- ・しっかり鍵を掛ける
- ・夜間は屋外の照明を点灯する
- ・センサーライトを設置
- ・車やバイクのボディカバーは防災品を使う

安心・安全なまち山科を守るため、  
皆さんで火災予防に取り組みましょう!



問合せ 区総務・防災担当 (☎592-3066)

「せつかく山科・醍醐地域限定でやっているのだから、コロナが落ち着けば、ここで培ったつながりで、実際に会えるリアルイベントもやっていきたい。例えばハイハイレース、お子さんの写真撮影会なんか面白そうですね。」  
最後に、きずなりレー読者の皆様にメッセージをいただきました。「私も山科・醍醐地域で子育てをしている普通のお母さんなので、あなたとお話をしたいです!、あなたのお話を聞きたいです。願わくば、ママ友になりましょう!」

(京都市まちづくりアドバイザー 谷亮治)

詳しくは  
ママルーム  
Instagramから▶



ママルーム主催者のお2人  
(松井さん親子(左)、田中さん(右))

親しまれています。

ママルームの立ち上げの経緯について、当時コロナ禍の中、妊娠のために育児中だった松井さんは、このように振り返ります。  
「育児中のママにはおしゃべりの機会が得にくいんです。特に新型コロナウイルスの流行で、お店や親子向けのイベントもすくなくなくなり、ママさんの悩みは大きくなっていると感じていました。」

そこで松井さんは、おもちゃ会社が企画した、育児中のママが全国から集まるオンライン交流会に参加しました。この交流会で一度も会ったことのない他地域の人たちとも親しい友だちになったり、悩みを発散したりすることができたことから、オンラインでおしゃべりする場の可能性を感じました。

しかし、この交流会は、参加者が住んでいる地域によって子育て環境が大きく異なるため、実際の育児の参考にはなりにくかったそうです。

そこで山科・醍醐地域で育児中のママさん向けのオンライン交流会を探しましたが見当たらなかったとのこと。「ないなら自分で作ってみよう」と、東野・山科別院で子ども食堂を行う田中純子さんと相談して二人でママルームを始めたそうです。

ママルームは、オンラインをきっかけとする出会いと語りですが、そのつながりはオンラインだけで完結するものではないと松井さんは語ります。

第76回  
連載  
区民活動きずなりレー  
みんな「山科区基本計画」に取り組もう!  
ママたちのワイワイガヤおしゃべりの場を  
オンラインで作りたい! ママルーム

ママたちのワイワイガヤおしゃべりの場を  
オンラインで作りたい! ママルーム